

〔寛永諸家系圖傳 百十四〕蜂須賀

家紋卍字、先祖柏の丸たりといへども、至鎮よりまんじにあらたむ。

〔寛永諸家系圖傳 百十六〕牧野

家紋丸の内に三葉柏、先祖忠節ありし時、みことのみありて、十六葉の菊をたまはる。秀吉の時にいたりて、朝廷の御紋たるにより、三葉柏にあらたむ。

以文字爲紋

〔太平記 九〕足利殿著御篠村則國人馳參事

去程ニ、足利殿○尊篠村ニ陣ヲ取テ、近國ノ勢ヲ被催ケルニ、當國○丹波ノ住人ニ、久下彌三郎時重

ト云者、二百五十騎ニテ最前ニ馳參ル、其旗ノ文笠符ニ、皆一番ト云文字ヲ書タリケル、足利殿、是

ヲ御覽ジテ、怪ク覺シケレバ、高右衛門尉師直ヲ被召テ、久下ノ者共ガ笠璽ニ、一番ト云字ヲ書タ

ルハ、元來ノ家ノ文歟、又是へ一番ニ參リタリト云符カト尋給ケレバ、師直畏テ、由緒アル文ニテ

候、彼ガ先祖武藏國ノ住人、久下二郎重光、賴朝大將殿、土肥ノ杉山ニテ御旗ヲ被揚テ候ケル時、一

番ニ馳參ジテ候ケルヲ、大將殿、御感候テ、若我天下ヲ持タバ、一番ニ恩賞ヲ可行ト被仰テ、自ラ一

番ト云文字ヲ書テタビ候ケルヲ、頓テ其家ノ文ト成テ候ト答申ケレバ、サテハ是ガ最初ニ參リ

タルコソ當家ノ吉例ナレトテ、御賞翫殊ニ甚シカリケリ、

〔山内首藤系圖〕俊通

俊通、白一文字、黒一文字爲家紋、

〔諸家系圖纂 大江 十二〕毛利家系譜

家紋、一文字三星、

〔寛永系圖 八〕柴田 源姓、家紋、藤丸内一文字、

〔寛永諸家系圖傳 二百六十四〕石原